
令和8年度宮城県田んぼダムシンポジウム

<開催要領>

1. 開催趣旨

近年、本県では、平成27年9月関東・東北豪雨、令和元年東日本台風、令和4年7月大雨と豪雨災害が頻発している中、水害防止に有効な手段として流域治水の中で「田んぼダム」が位置付けられています。

県では令和3年度に設立した「宮城県田んぼダム実証コンソーシアム（事務局：宮城県、大崎市）」を主体として、田んぼダムについての理解醸成と県内全域への普及・促進を図っています。

本シンポジウムは、田んぼダムにより期待される洪水被害のリスク軽減や取組事例等を学ぶことにより、田んぼダムの更なる普及・拡大と持続的な取組を推進するために開催するものです。

2. 主 催

宮城県田んぼダム実証コンソーシアム

（構成会員：宮城県、関係市町村、関係土地改良区、関係農業者組織）

3. 開催日時 及び 場所

■開催日時 令和8年10月23日（金） 13：30～16：00
（受付開始 12：30～）

■開催場所 ODKたじりマガンの里ホール（田尻文化センター）
〒989-4308 宮城県大崎市田尻沼部字富岡166

4. 参加申し込み方法

下記参加申し込みフォームにて申込ください。

<https://logoform.jp/f/5gbMc>



申込期限：令和8年10月19日（月）

※別紙様式（出席者報告）を上記参加申し込みフォームにアップロードすることで複数人の回答も可能となっておりますのでご活用ください。

5. プログラム

■開会挨拶

宮城県田んぼダム実証コンソーシアム会長 中島 源陽（宮城県大崎市長）

■講演

- (1) 宮城県農村振興課からの情報提供
 - ・宮城県農政部農村振興課 技術主任主査 渡邊 一昭
- (2) 「田んぼダム」の手引きの改定について
 - ・農林水産省農村振興局整備部農地資源課 経営体育成基盤整備推進室 保全調整班 課長補佐 平山 稔真 氏
- (3) 田んぼダムの洪水緩和効果の簡易評価手法について
 - ・新潟大学自然科学系（農学部）准教授 宮津 進 氏

※休憩

- (4) 「田んぼダム」岩見沢市の熱い思い ～先進地として～
 - ・一般社団法人岩見沢市広域協定 北海土地改良区 総務部次長 高道 政秀 氏
- (5) 栗駒山麓ジオパーク ～防災・減災教育と田んぼダム～
 - ・栗駒山麓ジオパーク 専門員 原田 拓也 氏

■閉会挨拶

宮城県田んぼダム実証コンソーシアム副会長 菊池 弘之（宮城県農政部長）

【展示】「田んぼダムの機器類展示」

- ・田んぼダム 堰板及び排水樹の展示
- ・県の取組紹介（パネル、模型展示）

田んぼダム模型展示、多面的機能支払交付金と田んぼダム、企業版ふるさと納税の紹介

【参考展示】「スマート農業の取組紹介」

- ・スマート農業機器類関連企業

6. 参加募集定員

300名程度

7. 問い合わせ

宮城県農政部農村振興課地域計画班（宮城県田んぼダム実証コンソーシアム事務局）

担当者：佐藤、渡邊、内海、秋山

TEL：022-211-2862 FAX：022-211-2890

電子メール：nosonshinc@pref.miyagi.lg.jp

8. 会場位置図

<アクセス>

- ・東北自動車道「古川 IC」から車で 25 分
- ・東北自動車道「長者原スマート IC」から車で 15 分
- ・東北新幹線「古川駅」から車で 20 分
- ・JR 東北本線「田尻駅」から徒歩で 5 分

※無料駐車場あり（約 200 台）

